

平成25年度事業報告書

〔 自平成25年4月 1日
至平成26年3月31日 〕

I. 学術研究助成事業

本財団定款第4条第1項に規定される学術研究助成事業は、大学、研究所、病院などにおいて、感染症の基礎的あるいは臨床的研究を行っている者及び感染症に関する疫学的研究を行っている個人で、満50歳以下の者を対象とする研究助成金で、平成25年度（第40回）学術研究助成事業は次の日程により実施した。受贈者は下記の通りである。

- ・公募開始：平成25年10月1日 応募要領・申請書197通発信
当財団ホームページ（公益財団法人公益法人協会共同サイト）に応募要項を掲載した。
- ・公募締切：平成25年11月30日 応募数65件
（応募内訳 細菌学42、寄生虫学22、不適1）
- ・選考委員会：平成26年1月21日
- ・理事会決定：平成26年2月20日

【第40回学術研究助成金受贈者】

氏名	所属・役職	研究課題	金額（円）
あんうら たけし 案浦 健	東京慈恵会医科大学 熱帯医学講座 助教	肝内型マラリア原虫の宿主内“居座り”の分子基盤	100万
おじま よしひろ 尾島 由紘	大阪大学大学院 基礎工学研究科 助教	メカノ腸管デバイスの開発と病原性大腸菌O157の付着制御への応用	100万
にしうら ひろし 西浦 博	東京大学大学院 医学系研究科 国際社会医学講座 准教授	トリパノソーマ属原虫及びリーシュマニア属原虫の自然宿主（リザーバ）の数理疫学的アプローチによる特定	100万
にしむら ともやす 西村 知泰	慶應義塾大学 保健管理センター 専任講師	新規結核治療法開発のための基礎的研究	100万
にのみや かずしげ 二宮 一茂	千葉大学大学院 医学研究院 免疫発生学教室 特任助教	消化管寄生線虫感染防御ワクチン開発に向けた感染防御応答の基礎研究	100万

まえだ ゆみ 前田 百美	国立感染症研究所 ハンセン病研究センター 感染制御部 主任研究官	ハンセン病患者血液に含むエキソソームの解析・診断への応用	100万
やまぐち たけふみ 山口 剛史	東京歯科大学 市川総合病院 眼科 助教	角膜における神経障害と細菌感染性の分子メカニズムの解明	100万
やまぐち のぶやす 山口 進康	大阪大学大学院 薬学研究科 准教授	タイ国における非結核性抗酸菌の環境内動態解析および感染経路の推定	100万
			800万

II. 顕彰事業

本財団の定款第4条第2項及び大山健康財団賞・大山激励賞選考規程第2条第1項・2項に基づき、平成25年度顕彰事業は下記の日程で実施し、審議の結果大山健康財団賞は該当者なしとなり、大山激励賞に下記の2名が決定し、1人50万円、計100万円を贈呈した。

- ・公募開始：平成25年10月1日 推薦依頼46通発送
当財団ホームページ（公益財団法人公益法人協会共同サイト）に推薦依頼を掲載した。
- ・公募締切：平成25年11月30日 推薦数6件
- ・選考委員会：平成26年1月17日
- ・理事会決定：平成26年2月20日

◇平成25年度大山激励賞受賞者

いしかわ ゆうじ
○石川 雄二 医療法人財団アドベンチスト会 東京衛生病院 手術室 看護師長 看護師

(功労の内容)

特定非営利活動法人ADRA Japanがネパールにおいて実施している口唇口蓋裂医療チーム派遣事業の中核を担う看護師として活躍され、1995年の第一回ネパール口唇口蓋裂医療チーム派遣事業の立ち上げに際しては医療関連企業に働きかけて資機材や消耗品の殆どを無償にて調達されるなど中心的な役割を果たされた。

以後、18年にわたりネパールの患者や企業等への啓発活動をはじめ医療従事者との信頼関係の醸成のみならず現地スタッフへの要請や調整業務に文字通り24時間体制で従事されるなど本事業の活動に多大なる貢献をされている。

やまもと かよこ
○山元 香代子 特定非営利活動法人ザンビアの辺地医療を支援する会 副理事長
医師（内科・小児科）医学博士

(功労の内容)

自治医科大学卒業後、宮崎でへき地勤務など9年間を含め15年間地域医療に従事後、発展途上

国での医療活動に関心を持たれ、2005年から2年間JICAの専門家としてザンビア共和国の地域保健医療の向上に尽力された。

その後、ザンビア保健省に巡回診療活動の申請を提出、ザンビアの医師免許も取得されて2011年からチボンゴ郡ルアノ地区等でボランティアでの巡回診療活動を開始され、1年のうち半年をザンビアでの活動、半年を日本の病院勤務をされている。

2011年12月からは日本国内のNPOからの支援も打ち切れ、自己資金のみでの対応をせざるを得なくなり、このような事情を知った有志により「特定非営利活動法人ザンビアの辺地医療を支援する会」が設立された。

2013年からは、カナカクタバ地区からの強い要請により、地区のヘルスセンターが正式に開くまで月1回の巡回診療を実施されている。

Ⅲ. 学術集会支援事業

本財団定款第4条第3項に基づき、下記の事業に支援した。

1. 第27回 Bacterial Adherence & Biofilm 学術集会に50万円供与した。

開催月日：平成25年7月12日（金）

開催場所：東京ガーデンパレス

Bacterial Adherence & Biofilm 学術集会は細菌の付着性、病原因子、病原性発現、バイオフィーム形成など細菌の病原性に関する学術研究に従事する研究者により構成されていて、毎年1回学術集会を開催している。平成25年度の学術集会は、109名が出席され、関連領域における優秀な研究者による特別講演、シンポジウムが行なわれた。

2. 平成24年11月10日に開催した橋本イニシアチブ15周年記念（顧みられない熱帯病）国際シンポジウムの記念誌作成に20万円供与した。

Ⅳ. 年報作成

平成23年度学術研究助成金贈呈者の業績報告集（年報No.38）を作成した。

Ⅴ. 寄附金

国際医学研究会（慶應義塾大学医学部学生組織）の第36次派遣団に寄附金30万円を供与した。同研究会より下記の報告があった。

派遣期間：平成25年7月13日～9月1日（51日間）

訪問国：ブラジル、ペルー、メキシコ

【活動内容】

1. 医の原点の実体験

アマゾン河流域の無医村をめぐる巡回診療船に同乗し、医療活動等を実施した。

2. 医学・医療を通じた国際交流

現地医学部、医療施設を訪問し、実習を行った。

ブラジルにおいて、現地医学生と「第26回日伯医学生会議」を開催し、ポルトガル語で医学的課題を発表、討議した。

3. 各地域が抱える医療問題への理解及び現地貢献の実践

ブラジル：セアラ州アラカチ市において、健康診断の仕組みが無い小学校に対して、身長・体重測定、内科・眼科・歯科検診をはじめとする学童健康診断等を実施した。

メキシコ：肥満率が世界一のメキシコにおいて、肥満が引き起こす医療問題や取り組みについて学んだ。

ペルー：リマにおいて結核関連病院と研究所を訪問し、実習を通して結核の現状や現地医療の取り組みについて学んだ。

4. 自然災害に対する国際医療支援のあり方の考察

メキシコ：震災対策の中核を担うメキシコ国立防災センター(DENAPRED)を訪問し、現地の災害医療を学んだ。

ペルー：日本ペルー地震防災センター(CISMID)を訪問し、現地の災害医療を学ぶと同時に東日本大震災被災地の現状及び取り組みに関するプレゼンテーションを行い、意見交換の場を設けた。

VI. 贈呈式及び祝賀会

平成25年度学術研究助成金および大山激励賞の贈呈式・祝賀会は下記の通り行った。

開催日時 平成26年3月20日(木) 午前11時30分

開催場所 霞が関ビル35階 霞ヶ関東海倶楽部

学術研究助成金受贈者代表挨拶 西村知泰

大山激励賞受賞者挨拶 石川雄二

山元香代子

VII. 総務事項

『理事会』(平成25年度)

◇第1回理事会(通常理事会)

(平成25年5月14日) 出席者 理事6名 監事2名 顧問1名

1. 「平成24年度事業報告書・決算報告書」承認及び「監事の監査報告」
2. 「評議員会へ提出する理事候補者」の推薦
3. 「学術研究助成金選考委員」の選任
4. 「顕彰者選考委員」の選任
5. 「学術集会支援審査委員」の選任
6. 定時評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項等
7. その他 報告事項

◇第2回理事会(臨時理事会)

(平成25年6月7日) 出席者 理事6名 監事2名 顧問1名

1. 「顧問」の選任：顧問に佐々木正五、川名林治の両氏を選任
2. 「代表理事(理事長)」の選定：代表理事(理事長)に藤森一平理事を選定
3. 「執行理事(専務理事・常務理事)」の選定：専務理事に竹内勤理事、常務理事に植田常昭理事を選定
4. その他 報告事項

◇第3回理事会(臨時理事会)

(平成 25 年 9 月 11 日) 出席者 理事 6 名 監事 2 名 顧問 1 名

1. 規程の改正・制定

- ①大山健康財団賞及び大山激励賞選考規程の改正
- ②委員会規程の改正
- ③委員会謝金規程の制定

2. 平成 25 年度「大山健康財団賞・大山激励賞」推薦依頼関連

- ①平成 25 年度「大山健康財団賞・大山激励賞」推薦依頼文書
- ②平成 25 年度「第 40 回大山健康財団賞」推薦票の改正
- ③平成 25 年度「大山激励賞」推薦票の改正
- ④推薦依頼文書の発送先

3. 平成 25 年度「第 40 回大山健康財団学術研究助成金」の募集関連

- ①平成 25 年度「第 40 回大山健康財団学術研究助成金」のご案内について
- ②平成 25 年度「第 40 回大山健康財団学術研究助成金」応募要領
- ③平成 25 年度「第 40 回大山健康財団学術研究助成金」申請書の改正
- ④平成 25 年度「第 40 回大山健康財団学術研究助成金」選考採点用紙の改正
- ⑤平成 25 年度「第 40 回大山健康財団学術研究助成金のご案内について」の発送先

4. その他 報告事項

◇第 4 回理事会(通常理事会)

(平成 26 年 2 月 20 日) 出席者 理事 6 名 監事 2 名

- 1. 平成 25 年度 大山健康財団賞・大山激励賞および第 40 回学術研究助成金選考経過報告並びに同承認
- 2. 平成 26 年度事業計画書及び正味財産増減予算書の承認
- 3. 臨時評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項等
- 4. その他 報告事項

『評議員会』(平成 25 年度)

◇第 1 回評議員会(定時評議員会)

(平成 25 年 6 月 7 日) 出席評議員 5 名 理事 6 名 監事 2 名

- 1. 「評議員長」の選定：評議員長に原隆昭評議員を選定
- 2. 「理事」の選任：理事に藤森一平、竹内勤、植田常昭、大山昭夫、脇山好晴、神谷茂、中里博を選任
- 3. 「平成 24 年度事業報告書・決算報告書」の承認及び監事の「監査報告」
- 4. その他 報告事項

◇第 2 回評議員会(臨時評議員会)

(平成 26 年 3 月 20 日) 出席評議員 8 名 理事 5 名 監事 2 名

- 1. 平成 26 年度事業計画書及び正味財産増減予算書の承認
- 2. その他 報告事項

以上

【附属明細書】

平成25年事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成26年6月

公益財団法人大山健康財団